

0.50, 0.34 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

⑳ りんご

りんご（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計5回散布(500L/10a)したところ、散布後42日の最大の残留量は0.23, 0.03 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㉑ 日本なし

日本なし（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計5回散布(500L/10a)したところ、散布後14~42日の最大残留量は0.60, 0.36 ppmであった。

日本なし（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計5回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.68, 0.35 ppmであった。

㉒ もも

もも（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は<0.01, 0.01 ppmであった。

もも（果皮）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は2.57, 6.42 ppmであった。

㉓ ネクタリン

ネクタリン（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(400L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.5, 1.4 ppmであった。

㉔ すもも

すもも（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300~400L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.12, 0.09 ppmであった。

㉕ おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300~400L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は1.30, 0.47 ppmであった。

㉖ いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの1,500

～2,000倍希釈液を計5回散布(300L/10a)及び1,000倍希釈液を計3回土壌灌注(100mL/株)したところ、散布後1～7日の最大残留量は1.20ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

いちご(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの1,500～2,000倍希釈液を計8回散布(300L/10a)したところ、散布後1～8日の最大残留量は1.18ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

④⑤ぶどう

ぶどう(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの100倍希釈液を300～500L/10a(休眠期散布)及び1,000倍希釈液を計3回散布(500L/10a)したところ、散布後45～75日の最大残留量は4.22, 1.68ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

④⑥かき

かき(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300, 400L/10a)したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.05, 0.36ppmであった。

④⑦パッションフルーツ

パッションフルーツ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300L/10a)したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.33, 0.30ppmであった。

④⑧いちじく

いちじく(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(230～300L/10a)したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.25, 0.57ppmであった。

④⑨茶

茶(荒茶)を用いた作物残留試験(4例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後14～21日の最大残留量は4.75, 2.62, 0.80, 3.46ppmであった。

茶(浸出液)を用いた作物残留試験(4例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後14～21日の最大残留量は2.50, 1.34, 0.42, 1.28ppmであった。

④⑩びわ

びわ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(400L/10a)したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.017, 0.008ppmであった。

⑤① うめ

うめ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの1,500倍希釈液を計3回散布（250～300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.6, 0.7 ppmであった。

⑤② わけぎ

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（150～400L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.1, 0.4 ppmであった。

⑤③ あさつき

あさつき（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（150～200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.5, 0.8 ppmであった。

⑤④ シソ

シソ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回株元散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.11, 0.04 ppmであった。

⑤⑤ せり

せり（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.7, 0.8 ppmであった。

⑤⑥ マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計1回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.4, 0.5 ppmであった。

⑤⑦ クレソン

クレソン（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布（150L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は<0.20, 0.26 ppmであった。

⑤⑧ 葉ごぼう

葉ごぼう（植物体全体）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布（200L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は2.2, 1.6 ppmであった。

⑤9 ホトケノザ

ホトケノザ(茎葉)を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(150L/10a)したところ、散布後30~60日の最大残留量は0.86 ppmであった。

⑥0 ゴギョウ

ゴギョウ(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(150L/10a)したところ、散布後30~60日の最大残留量は0.36 ppmであった。

⑥1 みずな

みずな(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(265~391L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は0.4, 2.4 ppmであった。

⑥2 ズッキーニ

ズッキーニ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(250L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.2, 0.2 ppmであった。

⑥3 グアバ

グアバ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(139L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.03, 0.08 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

⑥4 ピタヤ

ピタヤ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(188L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は1.38, 0.26 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

これらの試験結果の概要については、別紙1-1を参照。

また、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)
注2) 経過日数13日の試験については、本来最大使用条件下として定められた14日の試験成績の誤差範囲内とみなし、当該試験成績を暴露評価の対象としている。

7. 乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビン0、5、25、75、250ppmを含有する濃厚飼料(20kg/day)を牧草と共に27~30日間にわたり摂食させ(それぞれ0、100、500、1500、5000mg/頭/dayに相当)、牛乳、皮下脂肪、腹腔内脂肪、胸筋、大腿部の内転筋、肝臓及び腎臓に含まれるアゾキシストロビン含量を測定したところ、下記のとおりであった。なお、牛乳については、投与開始後1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31日目に搾乳したものを測定した。(検出限界:牛乳0.001ppm、牛乳以外0.01ppm)

上記の結果に関連して、米国では肉牛、乳牛及び豚における最大理論的飼料由来負荷(MTDDB)はそれぞれ74ppm、106ppm、10ppmと評価している。また、オーストラリアにおいては家畜へのMTDDBを20.3ppmと評価している。

表. 組織中の最大残留(ppm)

	5ppm 投与群	25ppm 投与群	75ppm 投与群	250ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
牛乳	0.003	0.006	0.004	0.009

8. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してアゾキシストロビン0、6、18、60ppm(0、0.72、2.16、7.2mg/鶏/day)を含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロビン含量を測定したところ最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。また、鶏卵についても投与開始後1、3、7、10、14、18、21、25、28日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。

上記の結果に関連して、米国ではMTDDBは7ppmとして、オーストラリアでは0.003ppmと評価している。

9. ADIの評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、平成16年11月30日付厚生労働省発食安第1130001号及び同法第24条第2項の規定に基づき、平成18年7月18日付厚生労働省発食安第0718005号により食品安全委員会あて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：18.2 mg/kg 体重/day
(動物種) ラット
(投与方法) 混餌投与
(試験の種類/期間)慢性毒性/発がん性併合試験/2年間

安全係数：100

ADI：0.18 mg/kg 体重/day

10. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国 (アスパラガス、大麦等)、オーストラリア (アボカド、バナナ等)、ニュージーランド (大豆、ぶどう等)、カナダ (ぶどう、なたね等) 及びEU (ラズベリー、にんじん等) において基準値が設定されている。

11. 基準値案

(1) 残留の規制対象

アゾキシストロビン本体

海外の作物残留試験においてメチル= (Z) -2- {2- [6- (2-シアノフェノキシ) ピリミジン-4-イルオキシ] フェニル} -3-メトキシアクリラート (以下、「Z体」という。) が検出されており、米国等においてZ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分がアゾキシストロビンの10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてZ体について分析を行った試験 (10 試験) においては、いずれも検出限界未満 (0.01ppm) であることから、Z体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会によって作成された農薬評価書においては、暴露評価対象物質としてアゾキシストロビンを設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

別紙2中でさとうきび及びカカオ豆については、現行0.02ppmの基準値を設定しているが、これは、本来、食品衛生法第11条第3項の規定に基づき、「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定める量」(一律基準)である0.01ppmで規制するところ、分析法の状況を考慮し、0.01ppmまでの分析が困難と考えられたことから0.02ppmの残留基準を設定したものである。今回、本剤については0.01ppmまでの分析が可能となったことから、0.02ppmの基準を削除し、一律基準 (0.01ppm) で規制することとした。

また、乳に対しては複数の海外基準を参考に一律基準 (0.01ppm) より低い基準である0.008ppmの基準値を設定したことに伴い、同じ畜水産物である魚介類及びはちみつ

に対して本来一律基準 (0.01ppm) で規制するところ、0.008ppm の基準値を設定した。乳牛における残留試験の結果から、乳の基準値を見直すことに合わせ、これらの基準値についても検討を行い、魚介類及びはちみつについては一律基準で規制することとする。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量 (理論最大摂取量 (TMDI)) のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	理論最大摂取量 (TMDI) / ADI (%) ^{注)}
国民平均	27.1
幼小児 (1~6歳)	51.8
妊婦	20.7
高齢者 (65歳以上)	29.2

注) TMDI 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度 (暫定基準) が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

アズキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日 35, 39, 46日	圃場A:<0.01 (#) (4回、39日) 圃場B:<0.01 (#) (4回、35日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日 14, 21, 28日	圃場A:0.01 (#) (4回、14日) 圃場B:0.02 (#) (4回、14日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日 14, 21, 28日	圃場A:0.04 (#) (4回、13日) 圃場B:0.02 (#) (4回、28日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03 (#) 圃場B:0.04 (#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:0.02 (#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.02 (#) (4回、14日) 圃場B:0.02 (#) (4回、21日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日 35, 39, 46日	圃場A:0.84 (#) (4回、41日) 圃場B:0.99 (#) (4回、35日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日 14, 21, 28日	圃場A:1.14 (#) (4回、14日) 圃場B:0.54 (#) (4回、14日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日 14, 21, 28日	圃場A:0.54 (#) (4回、20日) 圃場B:0.94 (#) (4回、14日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.52 (#) 圃場B:0.94 (#)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:0.64 (#) 圃場B:1.64 (#)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:2.32 (#) (4回、14日) 圃場B:1.07 (#) (4回、14日)
小麦※ (種子)	2	20%フロアブル	原液 8mL/kg (種子処理) ' +800倍根雪前散布 100L/10a ' +2000倍散布 100L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 (#) 圃場B:0.10 (#)
だいず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.01
だいず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	21日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)
あずき (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 (3回、14日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)
だいこん (根部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.44 圃場B:0.14
かぶ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.36 圃場B:8.64

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	
かぶ (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日 圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回、14日)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (吹付コーティング) +2000倍散布 300L/10a	5回	7, 14, 21日 圃場A:0.10(＃)(5回、7日)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 圃場A:0.06
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 214~400L/10a	2回	21日 圃場A:<0.1 圃場B:2.5
大山そだち (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	21日 圃場A:0.76 圃場B:2.19
サガミグリーン (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	21日 圃場A:0.86 圃場B:0.92
しろな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	14日 圃場A:0.12 圃場B:2.34
畑わさび (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日 圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日 圃場A:0.82(2回、14日) 圃場B:0.73
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日 圃場A:<0.05 圃場B:1.18
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~300L/10a	4回	7, 14, 21日 圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回、14日)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 200 ~300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日 圃場A:2.4 圃場B:2.5
たまねぎ※ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日 圃場A:0.02(＃)(4回、1日) 圃場B:<0.01(＃)(4回、1日)
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日 圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日 圃場A:1.42(4回、7日) 圃場B:1.20
にんにく (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日 圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	2回	14日 圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス※ (茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日 圃場A:0.83 圃場B:0.13
らっきょう (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日 圃場A:0.02(3回、7日) 圃場B:0.02
にんじん※ (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400L/10a	2回	21, 28日 圃場A:0.02 圃場B:<0.01
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日 圃場A:0.05(1回、60日) 圃場B:0.33
みつば (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日 圃場A:1.6 圃場B:1.7

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト※ (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 8日	圃場A:0.40(#)(4回、1日) 圃場B:0.09(#)(4回、8日)
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:1.18 圃場B:1.28
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 圃場B:0.58
きゅうり※ (果実)	2	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.20(#)(4回、1日) 圃場B:0.48(#)(4回、1日)
かぼちゃ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3~300L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.3 圃場B:0.3
すいか (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 168~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.01(4回、7日) 圃場B:<0.01
メロン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
オクラ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.22 圃場B:1.06
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.28(3回、3日) 圃場B:1.30
みょうが (花穂)	2	20%フロアブル	2000倍散布 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.50(4回、3日) (#) 圃場B:0.34(4回、3日) (#)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A:0.98 (#) 圃場B:0.14 (#)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14, 28, 42日	圃場A:0.60 圃場B:0.36
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.68 圃場B:0.35
もも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
もも (果皮)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:2.57 圃場B:6.42(3回、3日)
ネクタリン※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7日 1, 3, 7, 14日	圃場A:0.5(3回、3日) 圃場B:1.4
すもも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300~400L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.30(3回、3日) 圃場B:0.47
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a +1000倍土壌灌注 100mL/ 株	8回	1, 3, 7日	圃場A:1.20(#)(8回、1日)
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a	8回	1, 4, 8日	圃場A:1.18(#)(8回、1日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300~ 500L/10a+1000倍散布 500L/10a	4回	45, 60, 75日 45, 59, 75日	圃場A:4.22(#)(4回、45日) 圃場B:1.68(#)(4回、45日)
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300, 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05 圃場B:0.36

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
パッション フルーツ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.33 圃場B: 0.30
いちじく (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 230~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A: 0.25 圃場B: 0.57
茶※ (荒茶)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 4.75 圃場B: 2.62 圃場C: 0.80 圃場D: 3.46
茶 (浸出液)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 2.50 圃場B: 1.34 圃場C: 0.42 圃場D: 1.28
びわ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.017 圃場B: 0.008
うめ (果実)	2	10%フロアブル	1500倍散布 250~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A: 0.6(3回、7日) 圃場B: 0.7
わけぎ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~400L/10a	4回	7, 14日	圃場A: 0.1 圃場B: 0.4
あさつき (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A: 1.5 圃場B: 0.8
シソ (葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.10 圃場B: 0.04
せり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 7, 12, 20日	圃場A: 0.7(4回、14日) 圃場B: 0.8
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	100倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A: 0.4 圃場B: 0.5
クレソン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A: <0.20 圃場B: 0.26
葉ごぼう (植物体全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28日	圃場A: 2.2 圃場B: 1.6
ホトケノザ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A: 0.86
ゴギョウ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A: 0.36
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 265~391L/10a	2回	21日	圃場A: 0.4 圃場B: 2.4
ズッキーニ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.2 圃場B: 0.2
グアバ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 139L/10a	3回	14, 21日 7, 14, 21日	圃場A: 0.03(＃)(3回、14日) 圃場B: 0.08(＃)(3回、7日)
ピタヤ※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍散布 188L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A: 1.38(＃)(3回、1日) 圃場B: 0.26(＃)(3回、1日)

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
 (※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用し最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。
 なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アゾキシストロビン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

アズキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (籾米)	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha 散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 (穀粒)	5	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	40日 48日 48日 48日 39日	圃場A:0.01 圃場B:0.03 圃場C:0.02 圃場D:0.02 圃場E:0.03
大麦 (穀粒)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	38日 53日 55日	圃場A:0.23 圃場B:0.14 圃場C:0.07
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日 15日 14日 16日 14日 14日 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 圃場C:0.12 圃場D:0.07 圃場E:0.06 圃場F:0.06 圃場G:0.02
らっかせい (種子)	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日 14日 14日 14日 14日 20日 14日 14日	圃場A:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01 圃場E:0.12 圃場F:0.01 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:0.06 圃場J:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 圃場C:0.01 圃場D:0.03

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (根茎)	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01
てんさい (根茎)	9	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.03 圃場B:0.05 圃場C:0.18 圃場D:0.08 圃場E:0.04 圃場F:0.10 圃場G:0.11 圃場H:0.08 圃場I:0.05
ラディッシュ (根茎)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.41 圃場B:0.26 圃場C:0.14 圃場D:0.39 圃場E:0.11
ラディッシュ (葉)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:23.6 圃場B:31.4 圃場C:12.8 圃場D:9.9 圃場E:14.3
クレソン (茎葉)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	3回 6回	7日	圃場A:0.117 圃場B:0.475 圃場C:0.511 圃場D:<0.0676 圃場E:1.32
キャベツ (葉) ※外葉あり	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.76 圃場B:0.90 圃場C:0.321 圃場D:1.99
キャベツ (葉)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.176 圃場B:0.101 圃場C:0.0251 圃場D:0.174
芽キャベツ (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04 圃場C:0.05

農作物	試験圃 場数	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
ケール (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日 13, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.32 圃場C:0.31 (2回、21日)
マスタード (葉)	9	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 135-280g ai/ha 散布	6回	0, 6日 0日 0日 0, 7日 0日 0, 7日 0, 6日 0日 0日	圃場A:4.81 圃場B:14.7 圃場C:4.36 圃場D:5.60 (6回、7日) 圃場E:12.2 圃場F:10.7 (6回、7日) 圃場G:21.0 圃場H:7.52 圃場I:7.19
ブロッコリー (花穂)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7日 0日 0, 4, 6日 0日	圃場A:0.804 (6回、7日) 圃場B:1.29 圃場C:2.13 圃場D:0.187
カリフラワー (花穂)	4	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.06 圃場C:0.17 圃場D:0.15
アーティチョーク (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.6 圃場B:1.7 圃場C:2.3
レタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.49 圃場B:3.37 圃場C:3.43 圃場D:3.77 圃場E:2.47 圃場F:4.70 圃場G:3.39 圃場H:2.11
リーフレタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.1 圃場B:3.5 圃場C:4.4 圃場D:10.0 圃場E:8.2 圃場F:4.9 圃場G:13.5 圃場H:2.7
たまねぎ (鱗茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.55 圃場B:0.20 圃場C:0.45 圃場D:0.30 圃場E:<0.01 圃場F:0.14 圃場G:0.28 圃場H:0.07
ねぎ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:5.5 圃場B:1.4